

エコにこニュース



「エコにこセンター」は多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンターのニックネームです
2022 年 4 月で 20 歳になりました。



▼新型コロナウイルス感染症の感染防止対策にご協力をお願いします▼

- ・来館時はマスク着用、出入口での手指消毒をお願いします。
- ・体調が悪い時は来館を控えてください。
- ・社会状況等により開館時間閉館時間の変更、臨時休館、講座やイベントの中止、協力やお願い事項の変更等になる場合があります。

エコにこセンターは 20 歳になりました

2002 年 4 月にオープンしたエコにこセンター。多くの方々に支えられながらの 20 年。今年度は「20 周年」を意識しながら「ふりかえり」と「ステップアップ」の 1 年にしていきたいと考えています。今月号では過去に発行したエコにこニュースを少しだけふりかえってみました。

ニュースこぼれ話



ねんちゃん

タマちゃん

○創刊号(2002 年 5 月発行)から 24 号までは「リサイクルセンターニュース」でした。「エコにこセンター」というニックネームがきまったことをきっかけに「エコにこニュース」になりました。

○清掃工場だよりは 12 号(2003 年 4 月発行)からスタートしましたが、3 号から 11 号は「なやめる清掃工場」でした。工場の困りごとだけでなく、もっと自由に書いていこうということから「だより」に変更。今でも多摩清掃工場の職員が輪番制で書いているコラムです。

○タマちゃんが最初に自己紹介したのは 10 号(2003 年 2 月発行)でした。当時はリサイクルセンター広報担当特別スタッフでしたが、現在は多摩ニュータウン環境組合広報担当特別スタッフとして広く活躍しています。その後、食器リサイクル事業をスタートするにあたって登場したのが、食器リサイクル専属広報スタッフねんちゃんでした。ねんちゃんは 86 号(2009 年 9 月発行)の表紙を飾り、初お目見えとなりました。現在は、ねんちゃんがエコにこセンターの広報担当特別スタッフとして頑張っています。

3R 講座の申込みについて

すでに 2022 年度の講座やイベントなどの予定表は 3 月号に掲載しましたが、紙面の関係から申込期間等に関するお知らせを載せることができませんでした。そこで講座ごとに一覧表にしましたのでご利用ください。

	申込み開始日	実施条件・申込み終了日	申込をする人
さき織り体験教室	開催月の 2 ヶ月前の最初の開館日	開催日前日まで受付 初参加者は 2 週間前まで優先的に受付	参加者本人が申込む
お花の教室		開催日 1 週間前までに 3 人以上の申込み者があれば前日まで受付	
T シャツぞうり教室		開催日 3 日前までに 1 名以上の申込者があれば前日まで受付	
おとなのための工作教室		開催日前日まで受付	
こどもとうげい教室		開催日 1 週間前までに申込者が 2 名以上であれば前日まで受付	参加を希望する小学生は保護者が申込む

◎共通事項

- ・申込みは電話だけではなく窓口で申込むこともできます。
- ・どちらにお住まいの方でも参加することができます。
- ・すべて先着順受け付けです。
- ・見学はできません。
- ・講座のようすを写真や動画撮影、録音することはお断りしています。

◎対象年齢

こどもとうげい教室は小学校 1 年生から中学校 3 年生まで
その他の講座はおとなが対象のため、中学生以下は申込みできません。

※ニュース 3 月号および各講座別のチラシは館内で配布しています。またホームページでご覧いただくこともできます。詳細はお気軽にお問合せください。

ホームページはコチラ

https://www.tama-seisokojo.or.jp/center_top

※夏休みに開催を予定している子ども対象の講座は 6 月号で内容や申込み方法などをお知らせします。

エコにこマーケット

館内で定期的で開催している出店数 6 ブースの小さなフリーマーケットです。
中止の場合はホームページでお知らせします。

4月には23日(土)と
24日(日)に開催
します



出店できる人	八王子市・町田市・多摩市在住の人 プロの出店不可 中学生以下の出店不可
販売できるもの	家庭の不用品 手作り品など 販売価格 3000 円以下のもの 手づくり食品、動物、金券、仕入れたもの等は不可
申込み期間	開催日の 2 ヶ月前の最初の開館日～開催月の最初の開館日 キャンセル待ちも上記期間内のみ受付
申込み方法	電話またはセンター事務室窓口 先着順受付
その他	出店できるのは原則として 1 日のみ 定員に満たない場合は 2 日間可 参加費 1 日 300 円 販売ブース内に入れるのは 1 人のみ 子ども同伴不可
開催日と時間	4 月に申込ができるのは・・・ 5 月 28 日(土)29 日(日) 6 月 25 日(土)26 日(日) いずれも開催時間は 10 時～13 時 ☆4 月開催分は 4 月 1 日が申込み締切です

✂ こうさくの時間

事前申込みなしでどなたでも参加できますが見学はお断りします。
講師によるていねいな指導はありません。
中止の場合はホームページでお知らせします。

	陶芸	工作
内容	回収した食器を原料の一部に 使用した Re 陶土で 1 人 1 個自 由に作品をつくる	主として紙、布、ビーズ、空き箱な どを使って自由に作品をつくる。親 子で一作品可
開催日	4 月 17 日(日) 5 月 8 日(日)	4 月 29 日(金) 5 月 22 日(日)
受付時間	10 時 30 分～12 時 作品づくりは 12 時 30 分まで	
費用	1 人 200 g 300 円	1 人 100 円
その他	フタ、台、組などのセットもの を作ることはできません。 Re 陶土を増量して作陶するこ とはできません。	季節感のある作品見本や有料の工作 キット・部品などあり。 キットや部品を購入できるのは“工 作”の参加者のみです。

清掃工場だより



清掃工場に集められたごみのうち、燃やせるごみは焼却炉に入れて燃やしていることは皆様もご存じのことと思います。焼却炉の内部の温度は約900度の高温に調整されていて、ごみの主な成分である食品残渣などの生物由来の有機分は、高温のなかで完全に燃えて二酸化炭素や水蒸気になって排出されます。僅かに含まれている無機分は燃えても気体になることはなく灰となって残ります。燃やすことでごみは10分の1にまで減量され、最後の灰はセメントの材料としてリサイクルされます。このように多摩清掃工場では、一日におよそ200トンのごみを燃やしています。

世界に目を向けてみると、日本は諸外国の中で焼却炉の数及びごみの焼却量が最も多く、ごみ処理の経費に年間約2兆円もの税金を使っています。ごみのうち約4割を占めるものが生ごみですが、さらにそのうち半分は手つかずの食品という調査結果もあります。食べられるのに食べずに捨てられる食品ロスは年間で約570万トン発生し、国民一人当たり一日に約124gの食品を捨てていることになるそうです。お茶碗一杯分のごはんに相当します。我が家の冷蔵庫にも、いつ買ったか忘れてしまった食品が見つかることがあります。気が付くと賞味期限が過ぎていて、もったいないと思いながらも捨ててしまいます。皆様はいかがでしょうか。スーパーのセール品や半額の表示を見て予定にない食品まで買ってしまっことはありませんか？冷蔵庫の奥の方に、いつ買ったか思い出せない食品が眠っていないか、一度確かめて食品ロス削減にチャレンジしてはいかがでしょうか。

*****多摩ニュータウン環境組合多摩清掃工場

こでん診療処 (協力 G.koden)

家庭で使っている小型家電の不具合について相談を受けています。話している間に直ってしまうこともあります。 「修理屋さん」ではありません。

開催日(4月~5月)と時間

4月6・13・27日 5月11・18日 いずれも水曜日 13時~14時
事前予約不要 時間内に直接会場へ。

お知らせを  で配信 エコにこメール部にぜひ登録してください!!

エコにこセンターから、月に2回程度メールが届きます。ご希望の方は登録希望のアドレスからメールを送ってください。1週間程度過ぎても返信メールが届かない場合は電話でご連絡ください。

申込先メールアドレス recycle@tama-seisokojo.or.jp

- ・件名→メール登録 ※必ず件名をつけてください。
- ・本文→名前(ニックネーム可)、住んでいる自治体名(八王子市在住など)

編集発行 多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター

ニックネーム エコにこセンター (10時~17時 月曜休館)

エコにこセンターは、八王子市・町田市・多摩市で構成する多摩ニュータウン環境組合の施設です。センターの運営業務は特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦が受託しています。

TEL 042-374-6210 FAX 042-374-6214 206-0035 多摩市唐木田 2-1-1

メール recycle@tama-seisokojo.or.jp HP <https://www.tama-seisokojo.or.jp>

ツイッター「タマちゃん@エコにこセンター」 <https://twitter.com/econico1>

